

# 平成 29 年度岸部第一幼稚園 自己評価結果公表シート

## 1. 本園の教育目標

たくましく、自立できる子どもに育てよう

- ・心身ともにいきいきした子
- ・意欲的に遊べる子
- ・心ゆたかな子
- ・個性を認めあい、たすけあえる子

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ① 努力目標「造形活動を通して楽しくやる気を引き出す環境や援助について考える」達成に向けて保育内容の工夫をする。
- ・造形活動における同年齢保育・異年齢保育を計画的に進め、内容を充実させる。
- ② 特別支援教育の充実を図る。
- ・個々の幼児の姿や育ちについて丁寧にとらえ、関係機関との連携や保護者との共通理解を図りながら、より充実した支援体制を推進していく。
- ③ 中学校ブロックの中での、幼小中交流を深め、連携に繋げる。
- ・ブロック内の様々な研修会や授業参観に参加し、幼稚園教育についても理解を深められるような取り組みを考える。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
指導計画の作成	B	努力目標について共通理解を図りながら、週案や日案の中で造形活動における環境や援助を考え、日々の保育活動につなげることができ、作ったり描いたりすることが好きな子供の育成に繋がった。
特別支援教育の充実	A	特別支援に関わる研修会への積極的な参加や、特別支援コーディネータによるケース会議や園内研修の実施、日々の保育における話し合い等を通して、職員の共通理解が深まり、支援体制の充実につながった。
中学校ブロックでの幼小中連携の推進	B	中学校ブロックでの『人権』『共生教育』などのカリキュラム作成に幼稚園も携わり、連携の第 1 歩に繋がった。また、お互いの研究会や研修会、授業参観に参加することで、幼稚園理解につながった。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価 評価の基準

結果	理由
B	指導計画の作成・特別支援教育の充実、幼小中の連携など概ね達成できたと思われるが、より研鑽を重ね、来年度につなげていきたい。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画の検討と作成	3年間の育ちを見通した長期・短期指導計画の立案・検討を行う中で、職員全員の共通理解を図るための打ち合わせを丁寧に行い、保育の充実を図る。
幼小中の連携	中学校ブロックの中で、新たにスタートすることも園として幼稚園教育について発信し、12年間の育ちを考えた幼小中連携の推進を図る。

### ◎3.4 の評価結果の表示方法

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分ではない  
D:取り組みが不十分である